

地域課題への提案

障害特性の理解がまだまだされていない。
障害福祉関係者と介護保険の関係者ともにお互いの制度の理解が
されていないのではないか。

① 7月障がい等地域支援ブロック会議「要支援者のみの世帯をどうささえるか。」の事例検討の意見より

【資料1】障がい等地域支援ブロック会議報告（平成25年5月～平成25年10月）
参照）

◎家族同士は影響しあうことがあるので、支援者側は対象者だけでなく長期を見据えた
家族内全体の支援を考慮する必要があり、支援者間の情報共有が必要である。

◎支援者側が本人だけの支援でなく、家族全体をみる必要がある。必要時、介護保
険へのつなぎやケアマネジャーとの連携が大切なのでは。

◎家族の事については、どこまで立ち入ってよいか分からずSOSがでてからの支援に
なる現状があるのではないか。

⇒この事例からの課題

介護保険へのつなぎやケアマネジャーとの連携はどうしているのか。

② 8月のブロック会議「介護保険の対象となる聴覚障害者の調整について」 の事例検討の意見より

【資料1】障がい等地域支援ブロック会議報告（平成25年5月～平成25年10月）
参照）

◎手話通訳者の活用が必要である。

◎介護保険対応事業所の障害者に対するバリアフリーを推進し、地域の障害に対す
る理解を推進していく必要がある。

⇒この事例からの課題

聴覚障害者に対応できる介護保険対応の事業所がほとんどない現状があり、調整が
難しい。

③ 介護保険へ移行する際の状況についてのアンケート結果より（参考資料2）

<困っている内容>

- ・ 介護保険制度の理解が不十分
 - ・ サービス量や時間数の変化に調整が上手くいかない
 - ・ 障害福祉施設から介護保険施設に変わらなければならず不安がある。
- など

<介護保険へのスムーズな移行のためのシステムや対策など>

- ・ 介護保険移行にあたって、不安に思われている事をご本人に分かりやすく説明したり、相談できるシステム。
 - ・ 要介護認定が出た後、ケアマネにつなぐ為のマニュアルを作成して欲しい。
 - ・ ケアマネと相談支援事業所の顔合わせの場があれば良いな、という意見がありました。
 - ・ 高齢のサービスでは(障害のある方は)合わない方もいる。65歳以上でも障害のサービスが使える等、柔軟な対応ができると良いと思われる。
 - ・ 障害特性を理解していただく為に介護保険のケアマネジャーさんにも障害者相談の研修など参加して頂きたいと思います。
- など